

〔午後の部〕

筆記試験の注意事項

- (1) 筆記試験は、全国統一試験問題として一斉に行う。
- (2) 筆記試験の実施日時は2013年7月13日(土)の9時30分から15時30分までとし、午後の部は13時30分から15時30分までの2時間とする。
- (3) 試験開始後1時間は、退場を認めない。
- (4) 解答は、マス目入り答案用紙に記入すること。
答案用紙には、受験番号と選択した問題番号を必ず記入すること。
- (5) 試験を開始するにあたって、落丁や乱丁のないこと、また印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (6) 試験開始後は参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (7) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (8) 試験終了後、この問題は持ち帰ってもよい。

◇ A 群、B 群それぞれから 1 問を選択し、各 800 字以内で解答しなさい。

◇ 答案用紙には、受験番号および選択した問題番号を記入すること。

《A 群》

A-1. 液状化に関して、次の a) ～d) についてそれぞれ記述せよ。

- a) 発生のメカニズム
- b) 地質学的素因
- c) 液状化を生じる可能性のある自然地形
- d) 液状化による被害の形態

A-2. 谷底低地は、形成過程により、堆積性の低地（谷底堆積低地）と侵食性の低地（谷底侵食低地）の 2 つに分類される。それぞれについて、次の a) ～d) について記述せよ。

- a) 形成過程と地形的特徴
- b) 地盤および地下水の状態
- c) 土地利用とその理由
- d) 起こりうる自然災害とその理由

《B群》

B-1. 活断層に関して、次の a) ～c) についてそれぞれ記述せよ。

- a) 活断層とはどういうものか
- b) 逆断層型活断層の地形学的な認定の要点と留意すべき事項、および、地質学的な認定の要点と留意すべき事項
- c) 活断層に関する工学的諸問題

B-2. 崖錐に関して、次の a) ～c) についてそれぞれ記述せよ。

- a) 崖錐とはどういうものか
- b) 地形的な認定方法
- c) 防災上および応用地質学上の諸問題（あわせて3つ以上）